

吹田市乳がん検診実施状況について

<用語について>

- *マンモ併用検診:乳がん(視触診・マンモ併用)検診視触診。40歳以上対象。視触診で異常がなければマンモグラフィを撮影し、2人の医師の読影により、検診結果の判定を行う。1回/2年受診。
- *視触診要精検 :40歳以上で、乳がん(視触診・マンモ併用)検診受診時、視触診の時点で要精検と判定されること。
- *視触診検診 :乳がん(視触診)検診。30歳代対象。視触診で検診結果の判定を行う。1回/年受診。
- *初回・非初回 :初回受診とは過去3年間に受診していないものの受診、非初回受診とは過去3年以内に受診したものの受診。
- *対象者数 :国勢調査において報告された人数-(就業者数-農林水産従事者数)
- *受診率 :{(前年度の受診者数)+(当該年度の受診者数)-(前年度及び当該年度における2年連続受診者数)}÷(当該年度の対象者数)×100

1 40歳以上マンモ併用検診実施状況【H30.1.22時点】

(1)マンモ併用検診 検診受診者数と受診率

【表1-1】は69歳以下の受診実績を示したものである。

平成28年度の受診者数は前年度比577人減少しているが、2年に1回の検診における受診率の算定方法により、受診率は0.4ポイント増加した。初回受診者数が減少したことで、その割合は前年度比9.3ポイント減少した。無料クーポン券送付事業において、実施された平成21年度から27年度の間では、平成26年度が最も多い利用実績があり、4,647人の市民が利用している。平成26年度のクーポン利用者が平成28年度にも受診したことにより、初回の割合が例年よりも減少したと考えられる。

【表1-2】は全年齢の受診実績を示したものである。受診率の増加、初回受診者割合の減少は69歳以下の傾向と同様であった。

【表1-1】H26～29年度(4～11月) マンモ併用検診¹実績(40～69歳)

単位:人	H26年度 (参考値)	H27年度	H28年度	H29年度 (4～11月)
対象者数	37,568	37,568	37,568	37,568
受診者数	9,154	9,978	9,401	5,707
受診率	43.5%	48.9%	49.3%	—
初回受診者数	3,831	4,557	3,424	—
初回の割合	41.9%	45.7%	36.4%	—

【表1-2】参考値 H26～29年度(4～11月) マンモ併用検診実績(全年齢)

単位:人	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 (4～11月)
対象者数	64,012	64,012	64,012	64,012
受診者数	10,420	11,350	10,992	6,887
受診率	29.5%	32.8%	33.4%	—
初回受診者数	4,165	4,897	3,842	—
初回の割合	40.0%	43.1%	35.0%	—

【表1-3】参考値 H26年度比較(40～69歳)

	全国	大阪府	吹田市	府内順位
受診率	26.10%	28.80%	43.50%	4
要精検率	8.38%	7.70%	7.50%	
精検受診率	85.10%	93.20%	95.90%	17
がん発見率	0.34%	0.41%	0.20%	37
陽性反応適中度	4.05%	5.40%	2.30%	37

【表1-4】参考値 H25,26年度受診率比較(40～69歳)

	H25年度	H26年度
受診率(吹田市)	41.5%	43.5%
受診率(大阪府)	26.5%	28.8%
受診率(全国)	25.3%	26.1%

※順位は府下43市町村内の順位。比較データは「大阪府におけるがん検診 平成26年度」P97を参考。

※本表の吹田市データは、H27年5月時点での地域保健事業報告に基づく。

¹ マンモ併用の受診者数は3月31日までのマンモグラフィ読影完了者を指す。

(2) マンモ併用検診 年齢別受診率と受診者数

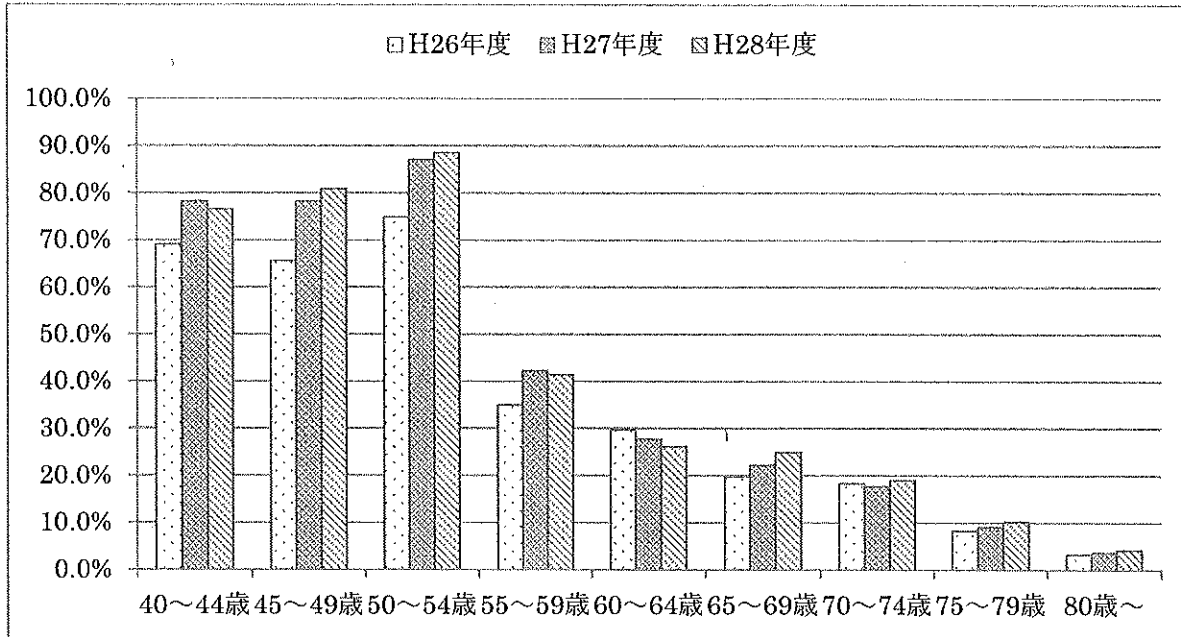
●受診率について

【図 1】では過去 3 年間とも、50～54 歳の受診率が最も高く、次いで 40 歳代が高率だった。現在、40～60 歳の偶数年齢の方に個別受診勧奨ハガキを送付しており、その効果が反映されている結果である。また受診勧奨に対して、受診につながりやすく、反応の良い年齢層であることも推測される。

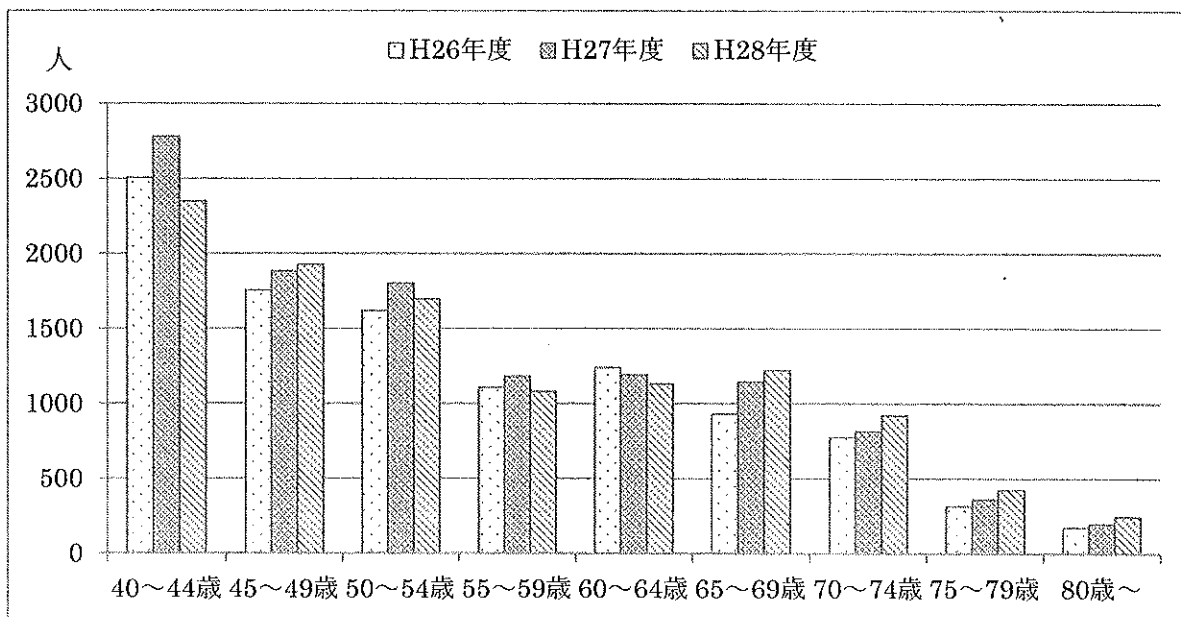
●受診者数について

【図 2】の平成 28 年度のマンモ併用検診受診者数を年齢階級別にみると、40～44 歳が最も多く、次いで 45～49 歳であった。前年度と比べると、40～44 歳、50～54 歳、55～59 歳、60～64 歳の年齢層で受診者数の減少がみられた。

【図 1】H26～28 年度 マンモ併用検診年齢階級別受診率



【図 2】H26～28 年度 マンモ併用検診 年齢階級別受診者数



(3) マンモ併用検診 要精検者について

平成28年度の要精検率は7.9%で前年度比0.4ポイント増加。精検受診率は97.6%で前年度比0.4ポイント増加。がん発見率は0.3%で前年度比0.11ポイント増加しており、いずれも許容値は越えている。表中にはないが、視触診要精検を含めるとがん発見率は0.37%である。陽性反応適中度は3.8%で前年度比1.21ポイントと増加した。

【表1-4】H24～29年度4～11月 マンモ併用検診要精検者内訳(全年齢)

単位：人	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 (4～11月)	許容値	
要精検者数	629	646	737	850	868	596		
要精検率	6.6%	6.8%	7.1%	7.5%	7.9%	8.7%	11.0%以下	
精検受診者数	616	623	710	826	847	535		
精検受診率	97.9%	96.4%	96.3%	97.2%	97.6%	89.8%	80.0%以上	
精検結果内訳	異常なし	312	296	335	372	403	297	
	がん	21	23	21	22	33	9	
	早期がん(再掲)	17	15	17	15	22	7	
	早期がん割合	81.0%	65.2%	81.0%	68.2%	66.7%	77.8%	
	がん疑い	0	0	1	0	0	0	
	乳腺症	76	87	92	159	153	55	
	繊維腺腫	44	26	52	45	53	38	
	嚢胞	89	111	102	150	132	98	
	その他	74	80	107	78	73	38	
	未把握	13	23	27	22	19	60	
未受診				2	2	1		
がん発見率	0.22%	0.24%	0.20%	0.19%	0.30%	0.13%	0.23%以上	
陽性反応適中度	3.30%	3.60%	2.80%	2.59%	3.80%	1.51%	2.5%以上	

2 30 歳代視触診検診実施状況【H30.1.22 時点】

(1) 30 歳代視触診検診 受診者数

平成 28 年度の総受診者数は 2538 人で、前年度と比べ増加した。この要因として、30 歳代著名人の乳がん報道による影響が考えられる。現在の受診動向から、平成 29 年 4～11 月の受診者数は前年度より減少することが予測される。

【表 2-1】H24～29 年度 4～11 月 30 歳代視触診検診受診者数

単位：人	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度	H 29 年度 (4～11月)
受診者数	2,493	1,885	1,892	1,791	2,538	1,585

(2) 30 歳代視触診検診 要精検者について

平成 28 年度の精検受診率は 92.0% で前年比 2.6 ポイント増加し、平成 27 年度に一旦減少した割合は、例年並みに戻っている。「がん」は 0 人だった。

【表 2-2】H24～29 年度 4～11 月 30 歳代視触診検診 要精検者内訳

単位：人	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度	H 29 年度 (4～11月)	
要精検者数	96	78	86	85	100	65	
要精検率	3.9%	4.1%	4.5%	4.7%	3.9%	4.1%	
精検受診者数	90	73	81	76	92	57	
精検受診率	93.8%	93.6%	94.2%	89.4%	92.0%	87.7%	
精 検 結 果 内 訳	異常なし	35	16	24	20	38	21
	がん	0	0	1	1	0	0
	早期がん（再掲）	0	0	1	0	0	0
	早期がん割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	がん疑い	0	1	0	0	0	0
	乳腺症	10	9	14	12	14	6
	繊維腺腫	20	15	13	14	11	10
	嚢胞	17	29	17	18	16	15
	その他	8	3	12	11	13	5
	未把握	6	5	5	8	7	8
	未受診				1	1	0
がん発見率	0.00%	0.00%	0.05%	0.06%	0.00%	0.00%	
陽性反応適中度	0.00%	0.00%	1.20%	1.18%	0.00%	0.00%	

3 40 歳以上視触診要精検実施状況【H30.1.22 時点】

(1) 40 歳以上視触診要精検者について

【表 3】平成 28 年度は、8 人の方が「がん」だった。視触診の時点で、しこり等が検出されるケースが要精検となるため、例年通り、陽性反応適中度は高率である。

【表 3】H24～29 年度 4～11 月 40 歳以上視触診要精検内訳

単位：人		H 24年度	H 25年度	H 26年度	H 27年度	H 28年度	H 29年度 (4～11月)
要精検者数		107	120	168	115	77	66
精検受診者数		102	116	150	110	75	57
精検受診率		95.3%	96.7%	89.3%	95.7%	97.4%	86.4%
精 検 結 果 内 訳	異常なし	37	40	46	43	22	25
	がん	13	11	19	9	8	4
	早期がん（再掲）	7	6	13	4	3	1
	早期がん割合	53.8%	54.5%	68.4%	44.4%	37.5%	25.0%
	がん疑い	1	0	0	0	0	1
	乳腺症	14	16	22	12	10	8
	繊維腺腫	14	13	20	12	12	10
	嚢胞	16	25	24	21	14	7
	その他	8	11	19	13	9	2
	未把握	5	4	18	5	2	9
未受診				0	0	0	
陽性反応適中度		12.10%	9.20%	11.30%	7.83%	10.39%	6.06%

4 乳がんだったケースの詳細【H30.1.22時点】

【表 4-1】H28年度 マンモ併用検診 がんの詳細

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開といたします。

【表 4-2】H29年度 4～11月 マンモ併用検診 がんの詳細

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開といたします。

【表 4-3】H28 年度 40 歳以上視触診要精検 がんの詳細

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開といたします。

【表 4-4】H29 年度 4～11 月 40 歳以上視触診要精検 がんの詳細

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開といたします。

【表 4-5】H28 年度～H29 年 4～11 月 病期分類Ⅱ以上かつ非初回者の前回受診状況

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開といたします。

5 マンモグラフィ実施医療機関別受診状況【H30.1.22時点】

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開といたします。